



TEAM NEXT YONEZAWA



あじろおさむ
代表の網代修さん。東町にある旧倉庫で撮影。11月にリノベーション着工予定。日本を代表する若手建築家と協力している。完成後はシェアオフィスになる予定。

株式会社アジリノ(大字竹井)——
もともとあった良さを残す
アジのあるリノベーション



▲アジリノの取り組みはこちら

今回はリノベーション事業を展開する株式会社アジリノの代表で一級建築士の網代修さんにお話を伺いました。修さんは大学卒業後、仙台の建設会社を経て実家の(株)網代建設に入社。働きながら山形大学の大学院で^{*}MOTを学び、リノベーションに出会います。修了後、網代建設リノベーション事業部を2017年に立ち上げ、2022年にアジリノとして法人化しました。

リノベーションに注目したきっかけは、米沢の住宅事情を目にしたことでした。空き家が多くある一方で、一軒家の夢を持ちながら集合住宅に住んでいる人もいます。新築よりも安価で施工できるリノベーションなら、この問題を解決できないかと考えました。

アジリノのこだわりは「長く使ってもらえる」ものづくりです。昨今の住宅は低コスト化のために新建材と呼ばれる人工材が使われることが多いですが、人工材は経年劣化が避けられません。対して天然木材などの本物の素材は、寺社仏閣のように時間が経つほどアジが出る「経年美化」を楽しめます。設計にあたっては、「一新するのではなく、もとの建物の特徴やアジは残して、新旧の融合・調和を演出します。地産地消の取り組みも行っていて、米沢杉のフローリングなどの開発を始めました。さらに、外部の設計者と協力しているため、自社の設計にとられない個性的な設計もできます。

今後の目標を伺いました。「持ち家といえど新築という考えがまだ強いので、リノベーション住宅をもっと普及させたいです。住宅だけでなく店舗のリノベーションも行っているの、人が出入りできる建物で実際にリノベーションの良さを知ってもらえるようにしたいです」

「米沢市役所 TEAM NEXT YONEZAWA」の取り組み

米沢市役所が取り組む米沢品質向上運動の具体的な取り組みとして、市役所への満足度調査「市役所あるあるアンケート」を募集しています。右の二次元コードから米沢市役所 TNY のページに進めますので、そちらのコメント欄に米沢市役所を利用されてお気づきの点等をご記入ください。

関係各課で情報を共有し、より良い市役所を目指してまいります(原則としてコメントへの返信は行いませんのでご了承ください)。



TEAM NEXT
YONEZAWA



^{*}MOT: Management of Technology の略。技術経営と訳される。自社が持つ独自の技術を活かし、ニーズに合った製品やサービスを開発する経営手法のこと。